

目 次

[A] 業 務 の 部

(Ⅰ) 秋田県衛生科学研究所の機構	1
(Ⅱ) 現職員並びに業務分担表	2
(Ⅲ) 昭和41年度予算決算額調	3
(Ⅳ) 業 務 内 容	3
(1) 総務課の業務内容	3
(2) 細菌病理科の業務内容	3
(3) 理化学検査科の業務内容	3
(4) 成人病科の業務内容	3
(5) 母子衛生科の業務内容	3
(5) 食品栄養科の業務内容	4
(7) 環境衛生科の業務内容	4
(Ⅴ) 業 務 実 績	4
(A) 細菌病理科の業務実績	4
a 食中毒検体および食品についての検査実績	4
b 各種水の細菌学的検査実績	5
c 梅毒血清検査実績	5
d 昭和41年度市販魚類の腸炎ビブリオ検査実績	5
e ボツリヌス菌の調査実績	6
f 豚の日本脳炎 HI 抗体調査実績	6
g 各種細菌、特に赤痢菌に関する検査実績	7
h 結核菌検査の実績	8
i 赤痢菌の容器内消長に関する実験実績	9
(B) 理化学検査科の業務実績	9
(1) 水 質 試 験	9
a 水道水精密検査	9
b 水道水定期検査	14
c その他適否検査	14
d 特殊成分検査	14
(2) 食 品 試 験	14
(3) 薬 品 検 査	15
a 血液比重測定用硫酸銅液	15
b 医 薬 品	16
(4) 温 泉 分 析	16
(C) 母子衛生科の業務実績	20
(1) モデル地区における調査	20
(2) くる病の実態調査	22
(3) 児童精神衛生に関すること	22
(4) 重症心身障害児の実態調査	22
(5) 衛生教育に関すること	22

	秋田県衛生科学研究所	藤 沢 宗 一	
		小 林 運 藏	
		茂 木 武 雄	
		坂 本 昭 男	
	東北大学医学部細菌学教室	石 田 名 香 雄	
10	所謂インスタントラーメンの経時変化について……………		71
	理化学検査科	芳 賀 義 昭	
		栗 原 正	
11	陸水各種食品及び土壌等の放射能測定調査報告（昭和41年4月～昭和42年3月）……………		79
	理化学検査科	斉 藤 ミ キ	
		芳 賀 義 昭 子	
		高 山 和 子	
12	亜硫酸ガスによる煙害調査について（第2報）……………		88
	環境衛生科	船 木 忠 一	
		児 玉 栄 一 郎	
	理化学検査科	斉 藤 ミ キ	
13	大気汚染調査報告（第1報）……………		94
	環境衛生科	児 玉 栄 一 郎	
		船 木 忠 一	
	理化学検査科	斉 藤 ミ キ	
14	脳卒中と飲料水との関係について（第3報）		
	金浦町と仁賀保町および山内村と琴浜村の飲料水調査成績……………		102
	環境衛生科	児 玉 栄 一 郎	
		船 木 忠 一	
15	秋田地方における山菜の栄養成分について（第2報）……………		110
	食品栄養科	宍 戸 勇	
		児 玉 栄 一 郎	
16	秋田県産水稻奨励品種玄米の成分について（第3報）		
	普通貯蔵米と低温貯蔵米の活性度および玄米、白米の成分の変化について……………		111
	食品栄養科	宍 戸 勇	
17	秋田県産水稻奨励品種玄米の成分について（第4報）		
	豊作時と冷害時における玄米および白米の含有成分の変化について……………		123
	食品栄養科	宍 戸 勇	
18	秋田県の農村における母子衛生について Ⅲ 3才児検診の精神検査法試案について……………		126
	附 問診法による母親と保母の評価の相違（保育所幼児）……………		143
	母子衛生科	小 西 玲 子	
		小 野 山 直 子	
19	心身障害児登録カード調査……………		149
	母子衛生科	小 西 玲 子	
		小 野 山 直 子	

20 高血圧症に関する調査研究（第4報）

秋田県農村3地区における高血圧症ならびに脳卒中の実態調査成績…………… 154

秋田県衛生科学研究所 児 玉 栄 一 郎

船 木 章 悦

今 野 宏

群馬県藤岡保健所 児 島 三 郎

秋田県 本 荘 保 健 所

同 五 城 目 保 健 所

協同研究者 大阪府立成人病センター

小 町 喜 男

小 沢 秀 樹

飯 田 稔

富 永 裕 民

渡 辺 嶺 子

坂 本 寿 美 子

21 大友玄圭と「沙蚕毒治験」について…………… 182

秋田県衛生科学研究所 児 玉 栄 一 郎

22 ビニールハウス、露地栽培野菜のビタミンC含有量および経時変化について…………… 192

食品栄養科 菊 地 亮 也

23 秋田県山菜の利用状況調査…………… 196

食品栄養科 菊 地 亮 也

24 栄養知識調査 —秋田県下における成人の栄養知識度— …………… 200

食品栄養科 菊 地 亮 也